

久留倍官衙遺跡公園管理活用委員会 令和7年度事業目標（案）

『史跡久留倍官衙遺跡保存活用計画』（令和3年3月）P33～P41 に基づく

【久留倍官衙遺跡】

①保存 ②活用 ③整備 ④運営・体制の整備

[事業に係る方針]

①絶え間ない情報発信

<ホームページ、Instagram、X（旧Twitter）の更新、まつりイベント、他地域・施設との連携> 年間を通して途切れない情報発信に努める。

②魅力の底上げ <企画展、講座、体験、学校教育>

新たな体験メニュー、整備した施設の新たな視点での活用方法を考案し、史跡の魅力を常に更新することに努める。

③接遇スキルアップ <ボランティアとの連携>

久留倍官衙遺跡に関心を持つ人々の要望を理解し、それぞれに対して的確な応対ができるよう、関係者の接遇スキルアップを図る。

④史跡の保護と来園者の安全確保 <維持・管理>

史跡を保護しつつ、来園者の安全を確保し、快適に園内を散策できるように、引き続き整備に努める。

令和7年度目標案 評価基準 ○：十分 △：やや不十分 ×：不十分

	事業方針	方法	事業	段階 新規・継続・完了	令和7年度の目標	★令和7年8月31日現在の状況 ☆令和6年度の成果	評価
①保存	市有地化済み	遺構の盛土保存済み					
②活用	情報発信	SNS発信	ホームページ Instagram Xの更新	継続	ホームページ、Instagram、Xの更新を月4回以上行う。 発信をしながら、求められる情報のニーズを見極め、SNSのフォロワーを計300人に増やす。	★HP・SNSによる積極的な情報発信を行っている。 計43回発信（月平均8回）Instagram、Xの総フォロワー数289人（8/31現在） ☆計225回発信（月平均18回） Instagram、Xの総フォロワー数279人	
	市民参加型イベント実施	くるべ×芸能大会 合同祭 「久留倍官衙遺跡まつり」と「郷土が誇る芸能大会」を合同で開催する。		継続	11/15(土)実施予定。 のべ <u>350人</u> 以上の参加とする。 アンケート「久留倍官衙遺跡まつりにとても満足できた、満足できた」を80%以上とする。	★「郷土が誇る芸能大会」と合同開催する。四市の歴史や芸能を一日で楽しめる催しとしていく。チラシの配布や、SNSを活用した広報を行う。 ☆11/9(土)実施。総参加者321人、総満足度94%	
	他施設連携	イベントや展示の協力等を行う。		継続	他施設と連携し、イベントや展示を3回以上開催する。	★あさけプラザウォーキング4/20実施。明和町での出張パネル展示計画。「あいの考古学」参加予定。 ☆あさけプラザや明和町等の他施設との連携を5回実施	
	来館者数			継続	年間4,500人 魅力ある展示・イベント来館者を増やす仕掛け ・歴史体験 ・季節行事の実施 ・学校活用 ・広報活動	★歴史館来館者数2,045人（8/31現在） 小中学校へ企画展やイベントの校長会での説明・配付を行った。また、学校行事である避難訓練に、歴史館の見学を組込んでもらうなど、学校活用が広がっている。 ☆歴史館来館者数4,504人	
魅力発信	企画展開催	夏・秋企画展 ミニ展示		継続	ミニ展示では、学校連携展示やボランティア企画による展示を年2回以上実施する。	★夏休みの期間中、7/19から八郷小、8/10から大矢知興譲小による見学の成果を展示した。12月には夏休みの郷土研究を展示するため、6月に市内全小中学校へ依頼している。 ☆ミニ展示を6回実施。	
	講演会実施	講演会開催		継続	アンケート「講演会にとても満足できた、満足できた」を80%以上とする。	★2月開催予定。専門的な内容でも分かりやすく伝えることを継続していく。 多くの方に来てもらえるよう、関係団体や文化課主催イベントにてチラシを配付する。 ☆11/9(土)久留倍官衙遺跡まつりにて開催。満足度87%。	
	体験講座 イベント	季節ごとの イベント実施		継続	アンケート「イベントにとても満足できた、満足できた」を80%以上とする。 申込不要の気軽に参加できるものを開催する。	★端午の節句の菖蒲の葉配布や七夕の季節行事、万葉植物観察会等の申込み不要のイベントを開催。人員都合により、イベントの数を減らしているため、イベント参加者数の維持に努めている。 ☆総満足度90.5%	

	事業方針	方法	事業	段階 新規・継続・完了	令和7年度の目標	★令和7年8月31日現在の状況 ☆令和6年度の成果	評価
②活用	魅力発信	学校教育への活用	出前講座の実施 歴史館・公園利用	継続	アンケート「講座や見学にとても満足できた、満足できた」を80%以上とする。	★現在3回実施 ☆3回、総満足度83%	
			関係機関との連携	継続	教育委員会と連携し、久留倍官衙遺跡の活用を進めるための情報発信や情報共有を進める。 校長会での発信を1回行う。	★「文化課夏季企画」について校長会で説明し、市内小中学校へチラシを配布した。 教職員研修参加者10人、三泗小学校社会科教育研究協議会による研修参加者35人。研修では久留倍官衙遺跡活用に向けて情報発信を行った。 ☆『久留倍官衙遺跡公園活用ガイドブック』を配布。教職員研修の参加者11人。	
			遺跡説明動画 (YouTube)の作成	継続	これまで紹介していない動画、1本以上制作する。	★体験メニューの内容や講演会の様子など、ニーズを把握して制作していく。 ☆公開動画15本。令和6年度公開動画0本	
③整備	保護 安全確保	雨水安全対策	地下式調整池汚泥除去 (R6年度～8年度の3ヵ年計画)	継続	来園者が安心して公園で過ごすことができるよう環境を整備する。 令和7年度分の地下式調整池汚泥除去を3月までに実施。	★令和7年度分の汚泥除去を実施する予定である。 ☆令和6年度分終了。	
		防犯・安全対策	公園内に掲示する注意看板の設置	継続	公園の環境維持のため、頻繁な見回りや、放送を使った呼びかけを行う。	★園内へのバイクでの侵入及び喫煙や、不法投棄、連絡地下通路付近への落書きが発生している。貼紙を増やす等対応している。 ☆ペットの散歩についての注意事項を掲示。	
④運営・ 体制の 整備	ボランティアとの連携	ボランティア活動	展示解説 イベント支援 史跡地植栽	継続	来館者の案内や学校対応、イベントの実施、植栽管理をボランティアと連携し、継続して行う。	★今年度から5人の新規ボランティアが加わっている。 ★☆来館者案内、学校対応、イベント支援、史跡地植栽管理などに日常的に取り組んでいる。	
		ボランティア育成	研修会の開催	継続	年3回以上研修を実施する。	★4/14、6/21に2回実施。 古代体験や、来館者との接し方、久留倍官衙遺跡の整備について研修した。 ☆3回実施(6/10、10/16、2/24)	
	保護と 安全確保 (維持管理)	地域団体との連携	公園除草清掃、屋外トイレ清掃、公園鍵管理	継続	来園者が引き続き安全に来園できるよう継続した清掃や鍵管理を行う。 除草作業は年4回以上、トイレ清掃は基本的に週4回行う。	★公園除草28回実施(8/31現在) ★☆日常的な公園除草、週4回の屋外トイレ清掃、毎日の解錠施錠等、地域の団体へ委託している。 ☆公園除草42回実施	
		施設点検	久留倍官衙遺跡公園施設点検チェックシート (以下チェックシートとする)」に基づく月1回の施設点検	継続	来園者が引き続き安全に来園できるよう、チェックシートを利用し、月1回継続した点検を行う。	★☆チェックシートを利用し、月1回の継続した点検を行っている。また必要に応じて、国土交通省と連携し、施設の補修を行っている。	
		施設補修	八脚門、正殿補修	継続	チェックシートにより月1回継続した点検を行う。なお、点検で明らかとなった補修箇所の補修を行う。また、必要な予算措置を行う。		